

- 学力向上総合対策推進事業（子供たち一人一人の学力向上を目指して）
- 学力向上総合対策推進事業（「家庭学習のすすめ」の紹介）
- 授業改善推進プロジェクト～生徒の確かな学力を育むために～
- キャリアビジョン形成支援事業・社会参画体験事業
- 地域で取り組む学校元気アップ！事業
- 学校教育を支援する実践的な研究を目指して
- 学校紹介／都留市立禾生第二小学校・県立都留興譲館高等学校
- 県立美術館コレクション企画展「没後100年 野口小蘋」
- 県立文学館「新収蔵品展 直筆に見る作家のリアル」
- 県立博物館シンボル展「浄土憧憬」
- 県立考古博物館「わたしたちの研究室」作品展開催
- 県立富士山世界遺産センターのご案内
- 山梨近代人物館人物紹介／小宮山清三
- 山梨の文化財／石川家住宅
- 家読（うちどく）ポップ作品を募集します

Click!

※指定ページにジャンプします



作品タイトル 「動物乱舞」

山梨県立高等支援学校桃花台学園

高等部 3年 もりた のぶひろ 森田 修啓

指導者：まつした 松下 めぐみ 教諭

山梨県教育委員会

# 子供たち一人一人の学力向上を目指して

～ 全国学力・学習状況調査結果から考える ～

義務教育課

## 1 全国学力・学習状況調査の分析

### (1) 教科に関する調査

	小学校調査				中学校調査			
	国語		算数		国語		数学	
	A	B	A	B	A	B	A	B
平均正答数（本県）	10.7/15	5.8/10	12.4/16	6.1/13	24.8/33	6.1/9	22.0/36	6.6/15
平均正答数（全国）	10.9/15	5.8/10	12.4/16	6.1/13	25.0/33	6.0/9	22.4/36	6.6/15
平均正答率（本県）	71.3	58.2	77.2	46.6	75.0	67.5	61.0	43.8
平均正答率（全国）	72.9	57.8	77.6	47.2	75.6	66.5	62.2	44.1
全国平均正答率との差	-1.6	0.4	-0.4	-0.6	-0.6	1.0	-1.2	-0.3

※Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が9月に公表されました。全体的には、全国平均正答率を下回っている教科があるものの、全国との差は着実に縮まり、改善の傾向が見られます。

特に昨年度まで課題であったB問題が改善され、小学校算数Bは、昨年度全国平均正答率との差が-3.1であったのに対し、今年度は大きく2.5ポイント上昇しました。また、本県の平均正答率の合計と全国の平均正答率の合計を平成25年度と平成28年度で比較すると、その差は-11.3から-3.3に縮まっています（図1）。さらに、同じ子供たちで比較すると、中学校3年の結果は、3年前（平成25年度）の小学校6年時の状況から改善し、全国平均正答率との差は縮まり、7.6ポイント上昇しています（図2）。

県教育委員会では、今年度小・中学校各300名程度の答案を指導主事が採点し、国の公表に先駆けて、6月に結果の分析と県として取り組む課題を示しました。これを受け、各学校では早期の授業改善に取り組むことができるようになりました。また、「やまなしスタンダード～授業づくりの7つの視点～」(図3)を掲げ、「すべての学校で校長のリーダーシップの下、全教職員がチームとなって授業研究が行われている山梨県」を合い言葉に、児童生徒の確かな学力の定着・向上を目指した取組を進めています。

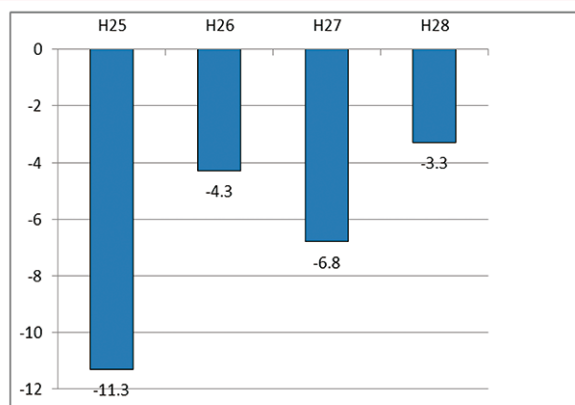


図1 本県平均正答率の合計と全国平均正答率の合計との差の推移

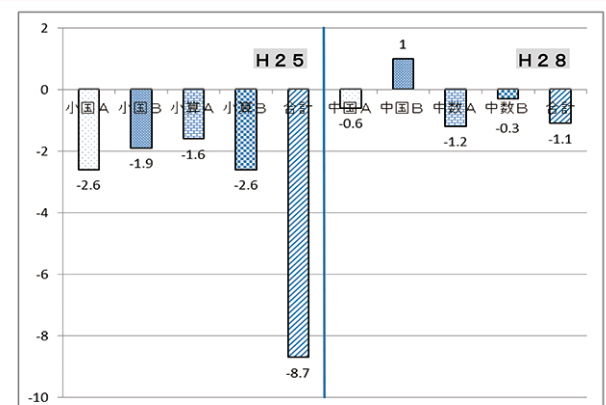


図2 小学校6年(H25)と中学校3年(H28)における全国平均正答率との差



※同様の資料が、高校、特別支援学校にも配付されています。

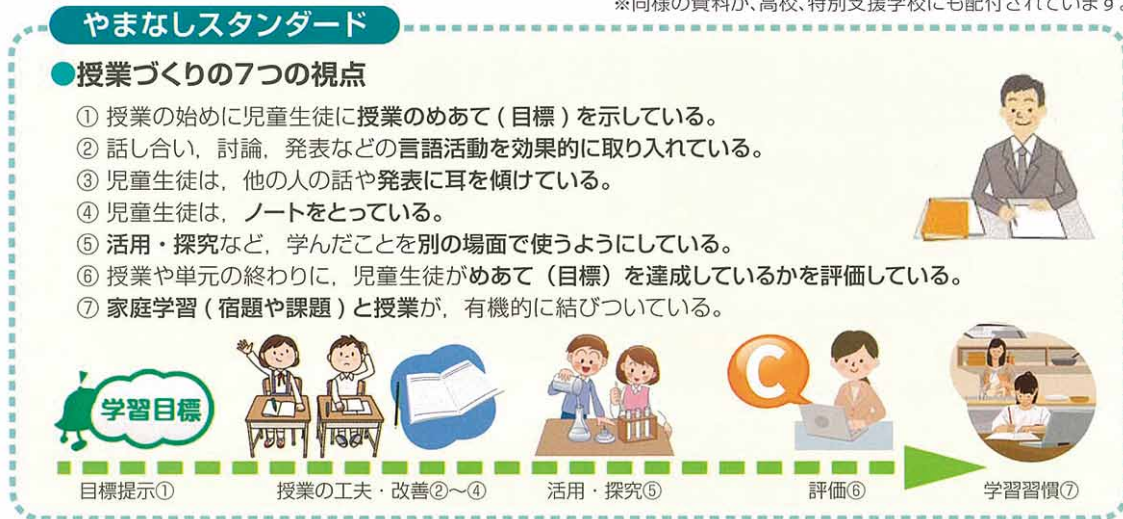


図3 やまなしスタンダード

## (2) 質問紙調査

児童生徒質問紙調査では、規範意識や自己肯定感など、ほとんどの項目で全国値を大きく上回っています。学校生活における項目においても肯定的な回答が多く、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する」、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」、「学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている」など、仲間と協力し、明るく素直に学校生活を送る児童生徒の様子が伺えます。

一方、家庭学習の取組においては依然として課題が見られ、「平日1日当たり1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合」は、小・中学校ともに6割程度に留まっています。家庭での計画的な学習に向けて、学習内容や方法を具体的に指導するとともに、学校が家庭や地域と連携するなかで、学習習慣の定着を図っていく必要があります。

学校質問紙では、知識・技能の活用や言語活動の充実に重点を置いて指導している学校の割合が全国値よりも高く、課題を踏まえた授業改善に取り組んでいる様子が伺えます。

一方、小中連携に関しては、「課題の共有」や「教育課程の接続」において全国値を下回っています。中学校区内において共に学び合う場や機会を設け、小・中学校の課題や指導内容を共有していくことが大切です。

## 2 学力向上フォーラム2016

県教育委員会では、9月29日に「学力向上フォーラム2016」を開催しました。都留文科大学の鶴田清司教授から「これから期待される授業改善の取組について」というテーマで御講演をいただくとともに、授業改善プラン実践事業推進校の取組を参考にした近隣校の実践報告、パネルディスカッション「授業改善の実践を振り返って、次へのステップ」等が行われました。



鶴田教授の御講演や各学校の実践は、学力向上にどのように取り組んでいくかの具体的な指針となり、実りの秋にふさわしい充実したフォーラムとなりました。

## 「家庭学習のすすめ」 掲示資料及び小冊子の発行

～ 家庭学習定着促進事業 ～

義務教育課

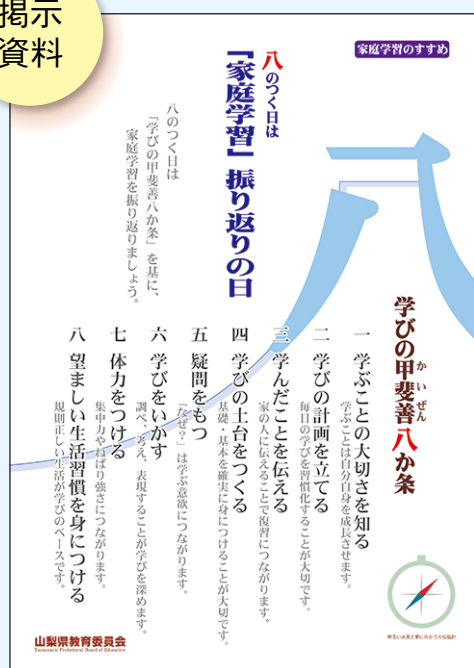
山梨県教育委員会では、この度「家庭学習のすすめ」 掲示資料及び小冊子を作成しました。

これらの資料は、① **今、学校などが取り組んでいる家庭学習の後押し**

② **家庭での学習を充実させるきっかけ**

を目的として作成しました。家庭学習をすすめるうえで重要な八か条になります。

掲示  
資料



小学校版



中学校版



「家庭学習のすすめ～学びの甲斐善八か条」に示しているそれぞれの項目について、説明した小冊子です。



目的をもって学ぶことは、学びの理解や深まりに大きな効果があります。本県の子供たちにもそうした学びが身につくよう、「学びの甲斐善八か条」を常に意識しながら、家庭や地域での学習を進めてほしいと思います。



掲示資料は、茶の間やリビングなど、家族みんなが見える場所に貼るとともに、八のつく日を中心に冊子を使って、内容や取組状況を確認するものです。



「家庭学習のすすめ」（電子版）や振り返りカードなどが、以下のURLからダウンロードすることができます。富士山の広いすそ野のような基礎学力を身につけ、その学びを総合的に活用し、自己の能力を発揮して、学びの高みを旨ざしてほしいと思います。

URL : <http://www.ypec.ed.jp/gimukyo/kateigakusyuu/>

Click!

# 授業改善推進プロジェクト

～生徒の確かな学力を育むために～

県立甲府昭和高等学校

## はじめに

高校教育課の「平成28年度学力向上のための取組の推進について」を受けて、本校では共通テーマ「主体的・協働的な学び（アクティブ・ラーニング）の推進」、選択テーマ「授業との有機的な関連を図った家庭学習の推進」、「学習意欲につながる評価の在り方」として、生徒の確かな学力を育むために各教科で「授業改善推進プロジェクト」に取り組んでいます。今回は8月の教育課程委員会で報告された理科と英語の取組について紹介します。また、全教科で「生徒が主役の授業づくり」の様子を下記URL（トピックスBLOG）で紹介していますので御覧ください。

<http://www.syowah.kai.ed.jp/php-bin/blog2015/bplus2611a/index.php>

Click!

## 【高校理科における参加型学習の取り組み】 ～理科～

### 1 目的・意図

本年度、本校理科における学校評価実施計画重点目標の一つとして、「理科の授業を通して科学的自然観の育成を図る」をあげました。具体的な方策として、以下の2項目をあげました。

(1) 調べ学習やグループワークを通して、生徒一人ひとりが主体的に授業に取り組む姿勢を育成する。

(2) 班別の実験、課題レポートの作成、発表を協働的に行うことにより、科学的探究心を深める。

理科教育において、単元の確認や理科への興味・関心・探究心を高める一つ的手段として、授業に理科実験、実習を組み込むことが多く、生徒にとって真に参加型学習となるためにはどのような方策があるかを模索することとしました。

### 2 研究実践

今回は、「化学基礎」単元「物質と化学結合」分野で、分子モデルを教材に実習を取り入れた授業を行うことにより、生徒の科学的探究心を養うこととしました。その際に、グループワークを基本単位に行い、協働による課題解決を図るため、生徒の活動を授業の中心とし、言語活動（話す、議論する、書く、発表する、レポートにまとめる等）を多く取り入れることとしました。このことにより、生徒が主体的に授業に参加し、また科学的探究心や思考力をより高めることができると思われました。

授業内容： (1) 本時の目的の説明 (2) 班毎生徒による実習 (3) 分子について考察

#### 生徒が主役の授業作り（理科編）

実施日 2016-07-07 Thu

2年2組の「化学基礎」の授業では、グループごとに分かれて、教材として分子モデルを使用し、分子構造とその形について学習しました。単元「物質と化学結合」で、示された分子の化学式・構造式（ $H_2O$ 、 $CO_2$ 等）を見ながら、分子モデルの模型を作成しました。このクラスでは、教材の分子モデルを2人1組で、6人ずつのグループを作り、互いに相談し、他のペアのものも確認しながら分子模型を作成しました。使用分子モデル：MOLECULAR MODEL(株内田洋行)



授業の様子

分子の形が、なぜ折れ線形（水分子）であったり、二重結合のある直線形（二酸化炭素）であるのか、分子モデルの作成によりあらためて発見することができました。



### 3 成果と課題

講義形式の授業に加えて、理科への興味関心を向上させるためには生徒が主体的に授業に参加する「生徒参加型」の必要性を強く感じました。理科実験・実習を行う際に、探究心や思考力をより高めるためには、ラーニングピラミッドによる自ら体験し、意見を出し合い、ともに学ぶ授業作りが必要と考えます。また、グループワークを行う際には、班構成の設定や班員の入れ替え等も工夫する必要があると考えます。

## 【CAN-DO リストに基づくパフォーマンスタスクの実勢と評価の工夫】 ～英語～

### 1 テーマ設定の理由

中学校及び高等学校の外国語科では、各学校が英語を用いて何ができるかを表す「CAN-DO リスト形式の到達目標（CAN-DO リスト）」を設定し、それに基づいた指導と評価を実践することが求められています。CAN-DO リストに記されている目標について教員が妥当性・信頼性のある評価を生徒に与えることによって、自分自身がどんな力を持っているのか、また、何ができるのかを認識できることが期待できます。更に、生徒はCAN-DO リストを参照することによって、次の目標を明確に設定することができ、それにより目標の達成に向けて学習意欲も向上することが期待できます。以上の理由により、テーマを設定しました。

### 2 取り組み内容

- 【4月】
- ① CAN-DO リスト形式の目標を生徒に提示する。
  - ② CAN-DO リストの達成状況を把握するためのパフォーマンス課題を作成する。
  - ③ パフォーマンス課題を評価するためのルーブリックを検討する。
  - ④ ルーブリックを生徒に提示し、授業の中でパフォーマンス課題を行うのに必要な要素を計画的に組み入れる。
- 【5月】
- ① CAN-DO リストの「読むこと」の達成目標をワークシートに明記する。
  - ② 教科書の本文とは別の関連した文、具体的には3人がディスカッションしている文章を読ませ、要点をまとめさせた後自分の意見を書かせグループ討論を実施する。
  - ③ 出された意見をクラス全体で共有する。
  - ④ ワークシートを回収し、要点がまとめられているか意見が書けているかを見る。
- 【6月】
- ① CAN-DO リストの「話すこと」の達成目標に基づき、プレゼンテーションを実施することを伝え、ルーブリックを提示する。
  - ② ルーブリックを基に原稿を作成、練習をさせる。
  - ③ クラス内でプレゼンテーションを実施する。
  - ④ プレゼンテーションをビデオに録画しておき、後日生徒に見せる。

### 3 課題・今後の取り組み

#### (1) CAN-DO リスト「読むこと」について

ディスカッションなど自分の意見を述べるときには、主張→具体例、説明→主張の構成で文章がまとめられていることを意識させました。文章を読んで構成を意識させた後、それをもとに自分の意見を書かせました。実際に自分で文章を組み立ててみることで、文章の読み方、筆者の意見のとらえ方がより理解しやすくなると思われます。今後も文章を読み、自分の意見を書かせる、の2本立てを意識させていきたいと考えています。

(2)CAN-DO リスト「話すこと」について

コミュニケーション英語の時間に書かせた英文を、発表用に手直しし、英語表現の授業で発表させました。添削もされていた英文だったので内容もきちんとしており、準備の時間が短縮できただけでなく、2つの授業の内容を融合させる取り組みをすることができました。発表後、録画したビデオを見せ、挙げられた反省点である、「声が小さい」「下ばかり見ている」「持ってきた物をあまり活用できなかった」などを、今後の発表活動に生かせるようにさせていきたいと思います。

(3) ルーブリックについて

すでにルーブリックは作成し運用もしていますが、上記の課題を踏まえて、妥当性・信頼性の高いルーブリックを作成するために今後も教員間の協働を進めていきます。

CAN-DO リスト(一部)

平成28年度 10月17日		Class ( ) No. ( ) Name ( )					
自主創造 県立甲府昭和高等学校 Can-do リスト (3年間の学習到達目標)							
グレード	到達時期	到達目標	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと	英検
Grade 8	3年終了時	卒業までに全員がクリアする目標がGrade7です！英検2級取得も目指そう！ 英語を通じて、社会的な幅広い話題についての情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりすることができる。	・自然な速さ(部分的に150wpmを超える)で話される国内外のやや社会的性の高い、または時事的な話題を扱ったまとまりのある英文を聞いて、その全体の概要を理解することができる。	・社会的性が高い時事的な内容を扱った評論文や随筆を読んで、その内容や筆者の考え・意図を理解することができる。	・やや社会的性の高い時事的な内容の話題について、その場でAREAに基づき自分の考えや意見をまとめ、即興で言うことができる。	・社会的性の高い時事的な話題についての自分の意見や考えを、AREAに基づき3段階構成で、200語程度で書くことができる。 第1段階: Introduction (= Assertion) 第2段階: Body (= Reasons & Examples) 第3段階: Conclusion (= Summary)	準1級
			・自然な速さ(150wpm程度)で話される海外の生活や文化・習慣などを扱ったまとまりのある英文を聞いて、その全体の概要を理解することができる。	・やや社会的性の高い内容の評論文や随筆でも、注や背景説明があれば、筆者の考え・意図を理解することができる。	・一般によく知られる時事的な問題の解決方法などについて、グループで互いに意見や考えを交換し合うことができる。また、互いに質疑応答ができる。	・やや社会的性の高い時事的な話題についての自分の意見や考えを、AREAに基づき3段階構成で150語程度の文章で書くことができる。 第1段階: Introduction (= Assertion) 第2段階: Body (= Reasons & Examples) 第3段階: Conclusion (= Summary)	
Grade 6	3年前期	・自然な速さ(150wpm)で話される日常生活の様々な場面(アナウンスや状況説明、道案内など)の話を聞いて、その内容を理解することができる。	・1つのパラグラフにおいて、主題文と支持文の区別をして読むことができる。 ・図表やグラフ等の関連に注意しながら文章を読み、必要な情報を得ることができる。	・身近で馴染みのある話題や物事についてその場でAREAに基づき自分の意見や考えをまとめ、即興で言うことができる。また、互いに質疑応答ができる。	・一般によく知られる時事的な話題について、その場でAREAに基づいて100語程度の文章で書くことができる。	準2級	
Grade 5	2年後期	・海外の生活や文化・習慣などを扱ったまとまりのある英文を聞いて、その全体の概要を理解することができる。 (リスニングテスト実施 月予定)	・平易に書かれた評論文や随筆を読んで、その内容や筆者の考え・意図を理解することができる。 WORLD TREK Lesson7: The Origins of Halloween	・一般によく知られる時事的な話題や物事について、クラスメートの前で資料等を効果的に提示しながら、説明や紹介をすることができる。また、質疑などに答えられる。 WORLD TREK Lesson5: Innovative Products / Lesson6: The Power of Japanese Pop Culture Vision Quest Part3 Lesson1 プレゼンテーション	・一般によく知られ実感が分かれるような話題についての自分の意見や考えを、AREAに基づいて100語程度の文章で書くことができる。 WORLD TREK Lesson3: The Battle of the Pets: Dogs vs. Cats Vision Quest Part3 Lesson3 ディベート		
Grade 4	2年前期	・国内の生活や文化・習慣などを扱ったまとまりのある英文を聞いて、その全体の概要を理解することができる。 (リスニングテスト実施 月予定)	・平易に書かれた説明文や物語を読んで、その内容を理解することができる。 WORLD TREK Lesson1: Young People!, Be Ambitious! WORLD TREK Lesson 9: Potato Stories	・身近で馴染みのある話題や物事についてのAREAに基づいた簡単なスピーチを、キーワードやメモをたよりに行うことができる。また、互いに質疑応答ができる。 WORLD TREK Lesson4: What if...? Vision Quest Part3 Lesson2 ディスカッション	・身近で馴染みがあり、実感を伴ったような話題についての自分の意見や考えを、AREAに基づいて10文程度の文章で書くことができる。 WORLD TREK Lesson2: Dear Juliet Vision Quest Activity4 Writing a Blog		
Grade 3	1年後期	・身近な話題(公共の場でのアナウンス、イベント情報など)を扱ったまとまりのある英文を聞いて、その全体の概要や相手の意向を理解することができる。 WORLD TREK Lesson 5: Soccer Uniforms Say a lot about Countries.	・一般によく知られる様々な話題を扱った文章を読んで、その内容を理解することができる。 WORLD TREK Lesson 6: Hokulea's Adventure	・自分の将来の夢や希望などについて、理由や具体例を交えて、紹介することができる。また、互いに質疑応答ができる。 WORLD TREK Lesson 7: Q&A Vision Quest Lesson 2: Are you interested in Japanese Anime? Vision Quest Lesson 4: I hear you've joined the soccer club.	・身近な物事についての「好き」「嫌い」、AREAに基づいて8文程度の文章で書くことができる。 WORLD TREK Lesson 8: Rose Vision Quest Lesson 11: Did you watch the debate on the 'Treat night? Vision Quest Lesson 9: I'm for... Vision Quest Lesson 5: Can you tell me what commitments it has?		

# キャリアビジョン形成支援事業・社会参画体験事業

～インターンシップ・ゼミ別学習の取組について～

県立山梨高等学校

## 1 はじめに

本校では総合的な学習の時間をT S（テーマスタディ）と称し、「自分という存在や生き方、将来像を考える中で、自己を表現することを目指して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する意識や能力を育てることを通して、社会の変化に対応できる力を育てる」ことを目標に、様々な活動を行っています。その中の大きな柱として、2年次のインターンシップ、3年次のゼミ別学習が挙げられます。その2つの取組について紹介していきたいと思ひます。

## 2 インターンシップ

本校では平成19年から2年生全員に対してインターンシップを実施しています。「学校と地域の産業界とが連帯し、生徒が各事業所で体験学習を行い、専門的な知識・技術を身につけ、望ましい勤労観・職業観を育成する」という目的で始まりました。本校では近年、95%以上の生徒が大学・短大・専門学校へと進学しています。そのような状況においてインターンシップは、世代や立場の異なる人々とのコミュニケーションを図ることを通じて、日常の学習の意義を再認識し、主体的に職業選択できる能力や望ましい勤労観を養うという重要な意義を持っています。

### (1) 実施の流れ

- 4月 企業依頼文書発送
- 5月 キャリア講座（企業人事部担当の講義）
- 6月 説明会及び希望調査後派遣先決定  
自己紹介文作成 企業調べ  
マナー講座
- 7月 企業事前打ち合わせ（電話または訪問）  
インターンシップ（25日～31日）
- 8月 礼状作成 アンケート実施



インターンシップ風景

### (2) 実施後の生徒の変容（アンケートより）

毎年実施後に、生徒と各事業所にアンケートを行っています。次はアンケートの一部ですが、実施初年度の平成19年と中間年度である平成23年、そして10年目にあたる本年の推移を表しています。

#### 1 インターンシップを体験する前の気持ちについて

	H19	H23	H28
やってみようと思った	37%	67%	77%
やりたくなかった	26%	22%	9%
どちらとも思わなかった	37%	24%	14%

#### 2 インターンシップを終えて、どのような気持ちですか

	H19	H23	H28
満足している	69%	86%	94%
満足していない	7%	5%	0%
どちらともいえない	24%	9%	6%

#### 3 今回のインターンシップは、自分の進路決定に役立つと思ひますか

	H19	H23	H28
思う	43%	76%	81%
思わない	22%	5%	3%
わからない	35%	19%	16%



このことからわかるように、本校のインターンシップは生徒に定着しており、入学時からきちんと認識され、意欲的に取り組む行事の一つとなっています。質問2の「どちらともいえない」の理由の中には、インターンシップに対する否定的な内容ではなく、「今思えばもっとできることがあったと反省した」という向上心が溢れる感想もありました。また、アンケートからは、毎年多くの生徒が、「働くことの楽しさと厳しさ」「人間性やチームワークの大切さ」「専門性が必要であること」を実感し、進路決定に生かしていることがわかりました。

### 3 ゼミ別学習

3年次の2学期は生徒たちが自分の進路希望に添ったゼミ別の授業を選択します。ゼミは下表のように分かれており、9時間をこの活動に充てています。

1 時間目	ゼミ別ガイダンス
2 時間目～5 時間目	ゼミ別講義 (8つのゼミすべてに毎回1名、計32名の講師が来校。 講師として大学の先生や地域貢献、地域活性化、地域連帯等の専門家に依頼しています。)
6 時間目	全体講演会
7 時間目～9 時間目	ゼミ別まとめ・発表会

#### ゼミ別講座内容

	講座名 (サブテーマ)	想定される進路の傾向 (キーワード)
1	「社会の中の自分」 ～自己実現をめざして～	就職 (企業・公務員)
2	「体を動かす喜び」 ～幼児から高齢者まで～	スポーツ・体育・保育・こどもの遊び
3	「温故知新」 ～過去からの将来展望～	文学・文化・法律・政治・経済・歴史・教育
4	「己を知り他者を知る」～「知る」と「つなぐ」～	コミュニケーション・コミュニティ・心理学 カウンセリング・福祉・介護・リハビリ (理学療法・ 作業療法・柔道整復)
5	「生命と健康」 ～人として生きる～	看護・医療・栄養
6	「科学技術の光」 ～人類の英知とその行方～	情報・ネットワーク・理学・工学・機械・電気・建築・ 土木・設計・技術・耐震
7	「芸術の融合」 ～美を求める心～	芸術・書道・音楽・美術・デザイン・生活・美容・調理
8	「異文化に触れて」 ～世界の中の日本・山梨～	外国語・文学 (英文)・異文化・国際・留学・世界遺産 グローバル・交流・民族

このような進路希望別ゼミ活動では、切磋琢磨する雰囲気や連帯感がはぐくまれることも意義深い点です。特に、地域社会や海外で活躍されている講師の方々に接して、自分自身の未熟さに気づき、成長を実感できることも生徒の満足度の高さにつながっていると思われます。



ゼミ別講義風景

### 4 おわりに

本年度から教育課程の編成上、1年時でのTSがなくなり、来年度は2年生2単位、3年生1単位のTSへと移行していきます。今後も生徒たちがTSの目標を達成できるような取組をを工夫し改善していきたいと思えます。最後にインターンシップにおける各事業所の方々やゼミの講義を引き受けて下さった講師の方々のお力添えに、この場をお借りして、感謝の意を表したいと思います。

# 地域で取り組む学校元気アップ！事業

～「遊ぼうよ！ さそえばできる 笑顔の輪」～

## 教育庁スポーツ健康課

### 1 はじめに

本県の子どもたちの体力の現状は、概ね低下傾向に歯止めがかかっているものの、昭和60年頃と比較すると依然として低い水準にあり、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が進んでいます。

このため、県教育委員会では、学校だけでなく家庭や地域が一体となって体力向上を目指すことを目的に、昨年度から本事業を進めてきました。

### 2 事業の概要

平成25年度から平成27年度までの3年間、県教育委員会・公益財団法人日本レクリエーション協会・山梨大学・立教大学ウエルネス研究所によるコンソーシアムで取組を企画し、「レクで学校丸ごと元気アップ事業」を展開してきました。昨年度からは、それをもとに、地域スポーツ関係団体や県内の山梨大学・山梨県立大学・山梨学院大学・都留文科大学と連携・協働し、県内15校の推進校での具体的な取組を展開しています。

※今年度の推進校（15校）

甲府市：千代田小学校・舞鶴小学校  
南アルプス市：白根百田小学校・櫛形西小学校  
甲斐市：玉幡小学校  
北杜市：小淵沢小学校  
山梨市：日下部小学校  
甲州市：井尻小学校  
笛吹市：石和北小学校  
身延町：原小学校・大河内小学校  
道志村：道志小学校  
山中湖村：東小学校  
富士河口湖町：西浜小学校  
上野原市：上野原西小学校

5月13日（金）に、協力大学の学生や小学校の教諭、地域スポーツ指導者等を対象に、「うんどうあそび楽習会」を開催しました。「アスとれ総合型クラブ」から講師を招き、6つの遊びを学習しました。89名の参加者で遊びの指導法等を研修しました。



※行った遊び

ゴムダン、Sケン、門番  
じゃんけん、宝とり、  
円形ドッジボール、  
リバーシ鬼ごっこ



### 3 推進校での主な取組内容

#### (1) 運動・あそび発見市

大学生を中心としたプレイリーダーが3つの遊びを紹介し、子どもたちはプレイリーダーに遊びを教わりながら一緒に運動体験をします。保護者や地域の協力者も参加し、一緒に遊びを体験したり、遊びの指導ポイントを学んだりします。学校は全校一斉の遊びの運営の仕方を学びます。



井尻小学校  
「運動・あそび発見市」より

#### (2) 元気アップ・タイム

教師や高学年の子どもたちがプレイリーダーとなり、「運動・あそび発見市」で体験した遊びを中心に、学校独自に展開していきます。保護者や地域の協力者には、遊びのサポーターとなっていただきます。

遊びが深まるにつれ、子どもたちなりにルールや場を工夫できるようになります。主体的に楽しむことができるようにしています。

### 4 今後の展開

子どもたちの遊びを広げ習慣化できる本事業に継続して取り組み、子どもたちの笑顔の輪が広がっていくことを願っています。さらにそれが、本県の子どもたちの体力向上につながることを期待します。

## 学校教育を支援する実践的な研究を目指して

総合教育センター 研究開発部

研究開発部は、総合教育センターの基本方針を受け、研究の推進、教育資料の収集、校内研究の支援等を担当しています。今回は、本年度のセンター研究の内容等についてお知らせします。

### ○センター研究の概要

全体研究テーマとして「学校教育を支援する実践的研究 ―確かな学力の育成を目指して―」を掲げ、多くの学校と先生方の協力をいただきながら、プロジェクト研究及び主事研究において以下の内容で研究を推進しています。

研究領域	校種・教科	研究主題
プロジェクト研究	学力把握調査研究 小中・国語、中・数学・英語	課題の克服を目指した学習指導の在り方
	教育課程実施状況調査研究 小中・社会・理科、中・英語	確かな学力の定着を目指した学習指導の在り方
主事研究 教科指導研究	高・国語	主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める国語科授業モデル
	高・地歴公民	I C Tを効果的に活用した主体的学習
	高・数学	効果的なアクティブ・ラーニングの計画・実施方法
	高・理科A	高等学校生物における主体的探究活動を重視した指導方法に関する研究
	高・理科B	主体的・対話的で深い学びを促す生物教育の指導法に関する研究
	中・音楽	「思考力・判断力・表現力」を高める授業の在り方
	中・技術	中学校技術分野の充実を目指して
	高・家庭	I C Tを活用して思考力・表現力を育むアクティブ・ラーニングの展開
	高・工業	工業の専門分野におけるデジタル教材を使用した授業
教育相談	相談支援部教育相談担当における相談実績に関する研究	
特別支援教育	学校における「合理的配慮の提供」の充実に関する研究	

### ○一般留学生による研究

本年度は2名の一般留学生が学校現場より派遣されています。本センター指導主事の指導や学校現場の先生方で組織する研究協力員部会での研究協議を受け、以下の研究内容で取り組んでいます。

研究領域	研究テーマ
理数教育（小・算数）	数学的な思考力・表現力を高める指導の在り方に関する研究
教育相談（小学校）	子供同士が安心感をもってつながる学級づくりのための研究

### ○センター研究大会

#### 「実践交流ラウンドテーブル2017 ―やまなし学びの未来―

平成29年2月23日(木)午後開催。ラウンドテーブルでは、各小グループ内において、センター指導主事が研究発表を行います。また、「学び合い」「問題解決学習」「主体的学び」「アクティブ・ラーニング」をキーワードとして、グループ毎にやまなしの教育について考え、教育活動に生かせる機会となるように、一人一人の教員が省察し、少人数でインプット、アウトプットが出来る交流形式を取ります。なお、特別講演では、白梅学園大学教授で中教審教育課程部会長の無藤隆先生の特別講演も予定しています。





## 「禾二っこ」を囲む地域の“わ”～ 地域に支えられる禾二小教育 ～

→ 都留市立禾生第二小学校

本校は、都留市の中心から約6キロ離れた桂川左岸にあり、大月市に隣接しています。校庭の西側には、中央高速道路、南側には、リニア実験線が走っています。校区の禾生・田野倉という地名が示すとおり、田園地帯が広がっていて、豊かな自然環境の中にあります。敷地内には地域の方々の協力で作られたビオトープがあり、全校児童の学習の場・憩いの場になっています。

本校では、『つながりを大切に“わ”を大事にする学校』を掲げ、伝統的に地域の人々との関わりや地域の特性を生かした体験活動を推進しています。活動の指導や支援をはじめ、教育活動の場や資材の提供、下準備や片付け等の労力奉仕など、様々な協力を得て、特色ある教育活動が展開できています。例として、5年生の米作りや低学年の野菜作り、低・中学年の地域学習、高学年の校外活動などが挙げられます。中でも小形山にある尾県郷土資料館は、地域の貴重な学びの場となっており、資料館館長をはじめ多くの地域の方々が講師や支援者として活動支援を行ってくださっています。

このように、本校の教育活動は、地域の支えで成り立っています。今後も、子供と教師、保護者と教職員、地域と学校などの様々なつながりを大切に“わ”を大事にした教育活動を推進していきたいと思ひます。



体験活動（田植え）



尾県郷土資料館



資料館での地域学習

## 都留興譲館高等学校と都留文科大学との連携

～グローバル社会で活躍する人材になるために～

→ 県立都留興譲館高等学校

### 総合的な学習の時間・英語理数科の英会話の時間

#### 都留文科大学の留学生によるインターンシップ

本校の所在地都留市には、都留文科大学、産業技術短期大学校があり、それらとの連携は開校初年度より盛んに行われてきました。さらに本年度から健康科学大学・看護学部が桂高校の跡地に誕生したことで、3つの高等教育機関との連携が可能になりました。本校設立時、英語理数科の特色の一つとしてあった総合的な学習の時間に英会話の勉強を行う計画と、都留文科大学のアメリカ人留学生の日本の高校生に英語を教えたいという希望がマッチしてこの事業は始まりました。

昨年度からは本校での英会話の授業を行うことが、インターンシップとして留学生の単位として認められることになり、アメリカのセントノート大学・ラドガー大学に続き、カリフォルニア大学の10校、イギリスのオックスフォード大学ブルックス校、本年度からは、カナダのリジャイナ大学、オーストラリアのタスマニア大学の学生も参加し、本年度後期の授業では2年生20名に対して留学生5名、1年生33名に対して留学生7名という少人数体制の実践的な英会話の授業が行われています。

グローバル社会に生きる生徒にとって、英語のスキルを磨く貴重な機会になっています。



生徒が浴衣と甚平を贈る



後期初回2年生の授業



浴衣で七夕

## コレクション企画展 「没後100年 野口小蘋」

県立美術館

### 【内容】

野口小蘋は、甲府で酒造業を営む「十一屋」野口家へ嫁ぎ、のちに近代を代表する女性南画家となりました。平成29(2017)年は、小蘋の没後100年にあたります。本展では、開館以来、県立美術館が収集してきた全作品と選りすぐりの寄託作品を一堂に会します。中には、日の目を見ること無く収蔵庫に眠り続けた作品や、今回、新たに寄託された作品など、初紹介作品も多数並びます。また、県内の個人コレクションの小蘋作品や、小蘋が実際に見て、学んだ師、日根対山をはじめとする先人画家や同時代画家たちの作品、さらには近年発見された資料を合わせて展観することで、優雅で格調高い小蘋芸術の世界を鑑賞していただきます。

### 【主な作品】



《美人招涼図》 明治20年  
山梨県立美術館蔵



《花鳥図襖》 明治30年 山梨県立美術館蔵



《百福図屏風》 明治後期～大正前期 十一屋コレクション

### コレクション企画展「没後100年 野口小蘋」

日時：平成29年1月21日(土)～2月26日(日)

場所：山梨県立美術館 特別展示室

入場料等：一般510円 大学生210円 65歳以上、高校生以下は無料

問い合わせ先：県立美術館 TEL 055-228-3322

関連HP <http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

Click!



## 新収蔵品展 直筆に見る作家のリアル

飯田蛇笏・芥川龍之介・井伏鱒二・草野心平・太宰治ほか

県立文学館

### 1 はじめに

文学者が書いた直筆の資料からは、書き手の人となりや、その時々的心情などを読み取ることができます。手紙からは文学者の様々な人間関係が見られ、また、写真にうつった表情からは私たちの知らない素顔が見ることがあります。今回の展覧会では、平成28年に新たに文学館に収蔵された資料を紹介し、作家のリアルな実像に迫ります。

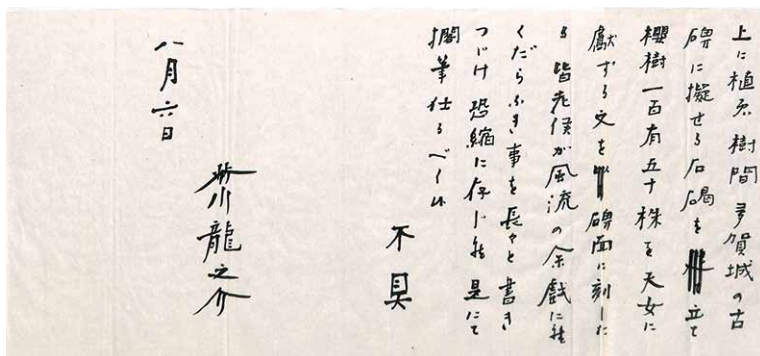
### 2 みどころ

芥川龍之介は、1914（大正3）年の夏を千葉県の一宮（いちのみや）で過ごし、当地から第一高等学校の恩師である菅虎雄に宛てて手紙を書いています。この手紙には、芥川が見た荒々しい一宮の海辺の風景が描写され、土地の古老から聞いた旧一宮藩領時代の面白い故事も記されています。手紙からは、歴史ある海辺の土地で、一夏を生き生きと過ごす芥川の姿が想像されます。

近現代の作家たちの中には、皆で集まってお酒を飲み、親睦を深める社交場が多くありましたが、戦後の東京に実在した文壇バー「道草」もその一つです。「道草」には、草野心平をはじめとして、多くの文学者や画家が集い、楽しい時を過ごしました。展覧会では、草野心平の書によるバーの看板や色紙、また「道草」にまつわる文学者や画家たちのバラエティ豊かな直筆資料や写真を紹介します。文壇バーに集った人々の様々な人間模様をご覧ください。

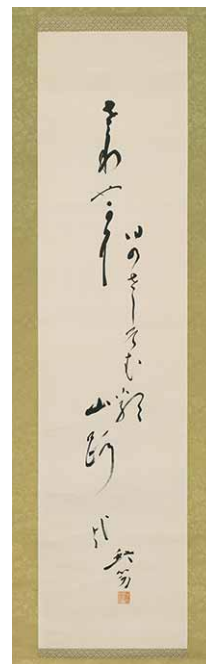
その他、新たに収蔵された井伏鱒二や太宰治の手紙、「赤帽かあちゃん」をはじめとして3000本以上のドラマを執筆した脚本家・竹内勇太郎旧蔵の原稿や台本、飯田蛇笏や佐藤春夫の書、前田晁、今川徳三、辻邦生らの直筆資料なども展示します。

いろいろな文学者の素顔を垣間見ることができる展覧会にぜひお越しください。



上：芥川龍之介 菅虎雄宛書簡（部分）

右…飯田蛇笏「さわやかに日のさしそむる山路哉」軸装



### 新収蔵品展 直筆に見る作家のリアル 飯田蛇笏・芥川龍之介・井伏鱒二・草野心平・太宰治ほか

日 時：平成29年1月21日(土)～3月20日(月・祝)

場 所：山梨県立文学館 甲府市貢川1-5-35

休 館 日：月曜日（祝日を除く）

観 覧 料：無料でご覧いただけます。

問い合わせ先：TEL 055-235-8080

関連HP <http://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>

Click!



## シンボル展「浄土憧憬」

県立博物館

古来人々は、死後に極楽浄土へ往生することを願い、いつか訪れるその時のために、数々の善行を積むことを心がけました。生前に良い行いをすることによって、人々は極楽へと生まれ変われると信じていたのです。数々の経典に記される浄土は、とりどりの花やきらびやかな宝石に彩られたこの上なく美しい世界として語られます。そしてそこは、阿弥陀如来の慈悲に満ちあふれ、すべての苦しみや悲しみから解放された、理想の場所として考えられていました。

人々がいかに切実に浄土に生まれ変わることを望んでいたか。それは、現在数多くの浄土図が残されていることからもうかがい知ることができます。その中でも最も有名な浄土図のひとつは、奈良時代に中将姫という人が蓮の糸で織り上げたという伝説に彩られた、奈良の当麻寺に伝わる「当麻曼荼羅図」です。中央に阿弥陀如来を取り囲んで数々の菩薩がひしめくように坐す浄土が描かれ、その周囲には極楽浄土へ至るための方法や、往生の様子が描かれています。浄土への信仰は鎌倉時代以降特に高まったので、「当麻曼荼羅図」は多くの信仰を集め、数多くの転写本（写し）が作られることとなりました。

この展覧会では、当麻曼荼羅図や、人々を浄土へと導く役割を担う菩薩像、浄土の教主である阿弥陀如来像などを紹介し、「遙かなる憧れの地」を求め続けた人々に思いを馳せます。



左：当麻曼荼羅図（北杜市所蔵）

右：観音菩薩立像（安楽寺所蔵）



### シンボル展「浄土憧憬」

会 期：平成29年1月28日(土)～2月27日(月) 毎週火曜日休館

観 覧 料：一般510円、大学生210円（常設展観覧料でご覧いただけます。）

小・中・高・特別支援学校等の児童・生徒は無料

問い合わせ先：県立博物館 TEL 055-261-2631

関連HP <http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

Click!

## 第14回「わたしたちの研究室」作品展の開催

県立考古博物館

### 「わたしたちの研究室」とは？

「わたしたちの研究室」は、歴史や考古学を学ぶ楽しさを小・中学生の皆さんに知っていただくため、平成15年から考古博物館で主催しているコンクールです。今年で14回目を迎える本コンクールでは、身近な郷土の歴史を学び、その研究成果を表彰・発表する機会を設けることで、児童・生徒の皆さんが自ら考え、まとめる力をつけ、「調べ学習」から一歩進んだ主体的な研究活動につなげるきっかけを提供することを目的としています。



第13回 作品選定会の様子



第13回 研究成果展示会  
団体研究部門 優秀作品展示の様子

作品は選定委員会にて厳選し、中でも特に優秀な作品は表彰しています。作品の評価にあたっては、実際に現地へ赴き、自分の足で調査・考察した過程を重視しており、子どもたちならではの生き生きとした発想を高く評価しています。昨年も弥生時代の高床倉庫を再現した過程をダイナミックにまとめた大作や、甲州金の成り立ちに着目し、現地訪問と実際の体験を織り交ぜて分かりやすくまとめた研究など、大人の研究者たちにも負けない斬新で意欲にあふれる研究成果が数多く集まりました。

### 第14回「わたしたちの研究室」研究成果展示会

応募いただいたすべての作品は、入賞の有無にかかわらず春の研究成果展示会にて展示公開しています。今年度もいづれ劣らぬ力作揃いです。選定委員の先生方をうならせた未来の研究者達の作品を、ぜひこの機会にご覧ください。

開催期間：平成29年2月11日(土)～3月5日(日)

時 間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休 館 日：毎週月曜日

会 場：考古博物館企画展示室

観 覧 料：無料

(常設展の観覧には別途観覧料が必要です)

問い合わせ：山梨県立考古博物館

TEL ＊ 055-266-3881

FAX ＊ 055-266-3882

H P ＊ <http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>



第13回 研究成果展示会の様子

Click!

## 富士山世界遺産センターのご案内 – 企画展「探訪 富士山巡礼路」–

県立富士山世界遺産センター

### 1 富士山世界遺産センターへようこそ！

富士山が世界遺産に登録されてから3年目となる今年の6月22日に富士山世界遺産センターが開館しました。

本センターに入館して「富士山ゲート」をくぐり、2階へ上がると目の前に広がるのは、シンボルオブジェの「富嶽三六〇」です。この「富嶽三六〇」は、富士山が魅せる様々な表情を、光と音によって演出します。

1階では、富士山の信仰と芸術の世界を巡ります。信仰のコーナーでは、富士山信仰にまつわる伝承や神話、時代とともに移り変わる神や仏の姿を紹介するとともに、また江戸時代に江戸から富士山頂まで参詣した富士講の人々の足跡をジオラマなどでご覧いただけます。

芸術のコーナーでは、富士山を題材にした文学作品や絵画などを紹介します。特に「富士山百画」では、3面のスクリーンにより浮世絵など富士山を描いた様々な絵画を映像でたどることができます。そして、富士山ライブラリーの壁一面に描かれた、シンボル絵画『富士北麓参詣曼荼羅』をぜひご堪能ください。



シンボルオブジェ「富嶽三六〇」

### 2 企画展「探訪 富士山巡礼路」展開催

企画展や写真展も本センターの魅力の一つ。写真パネルや映像を用いて、富士山の歴史や文化を掘り下げた展示をしています。今回は、平成29年1月1日（日）から2月27日（月）まで、「探訪 富士山巡礼路」展を、南館の富士山ステーションで開催します。

富士山の麓へ向かう参詣路や、麓から富士山の頂上へ至る登拝路といった道をとおして見えてくる、富士山信仰や文化の広がりをご紹介します。



吉田口登山道「馬返」

#### 【関連イベント】

##### ○世界遺産富士山講座 第6回「参詣路と巡拝路」

日時：平成29年1月21日（土）13：30～15：00

場所：本センター北館2階 研修室

講師：堀内 眞（本センター学芸員）

##### ○山梨県富士山総合学術調査研究シンポジウム

「富士山と熊野三山ー世界遺産となった山岳信仰の霊場ー」

日時：平成29年2月18日（土）13：30～17：00

場所：富士河口湖町中央公民館

※いずれも参加費は無料。詳しくは、本センター調査研究スタッフまでお問い合わせください。

- 入館料 南館 一般：420円 大学生：210円 高校生以下：無料（10名以上の団体割引もあります。） ※北館は無料
- 開館時間 8時30分～17時00分 ※時期により閉館時間が変わります
- 休館日 北館：年中無休 南館：第4火曜日
- 問い合わせ 富士山世界遺産センター TEL 0555-72-2314

関連HP：<http://www.fujisan-whc.jp>

Click!



## 山梨近代人物館

学術文化財課

## 「消防の父」にして木喰仏再発見の立役者 ― 小宮山清三 ―

「表消防、裏木喰<sup>もくじき</sup>」。これは、消防団の地域への普及に尽力し、その一方で木喰仏の再発見の立役者となった、小宮山清三<sup>こみやませいぞう</sup>を当時の人々が評した言葉です。

明治13年(1880)に中巨摩郡西野村(現在の南アルプス市)で生まれた小宮山は、同郡池田村(現在の甲府市)の叔父小宮山民平の養子となり、家督相続後、池田村の村長や県会議員・議長などを歴任するなど政治家としても活躍し、また昇仙峡へ向かう道路改修にも取り組むなど、山梨県の政治経済上の様々な課題に取り組んだ人物でした。のちに「護郷立国<sup>ごきょうりつこく</sup>」と郷土を護り育てていくことが国の拠って立つ道であると考えた小宮山は、地域における消防団活動の普及に身を投じていきます。大正4年(1915)に池田村消防組頭に就任して以来、小宮山は山梨県消防協会や大日本消防協会といった、消防普及の組織の設立や運営に携わり、普及を図る講演のために各地を行脚しました。小宮山は、消防は単なる「火消し」ではなく、火災をはじめとする災害を予防して郷土を保全する、自治的性格の任務として位置付けました。小宮山の消防への熱意とユーモアが込められた講演には多くの聴衆が集まり、後半生を消防の普及に捧げた小宮山をして、当時の人々は「消防の父」と称しました。小宮山が昭和8年(1933)に没した際には、日本初の「消防葬」が甲府の舞鶴城公園で執り行われ、「消防の父」の逝去を悼む1万人余りもの人々に見送られています。

小宮山のもう一つの顔が、木喰仏の「再発見」の立役者という功績です。その没後から1世紀余りも無名だった木喰上人<sup>もくじき</sup>(木喰五行 1718-1810)作の仏像(以後、「木喰仏」)が、にわかに世間に知られるきっかけとなったのが、所属する甲府教会で親交があった浅川伯教<sup>あさかわのりたか</sup>・巧兄弟<sup>たくみ</sup>を介した、民藝運動の主唱者柳宗悦<sup>やなぎむねよし</sup>との出会いでした。柳は浅川巧の案内で、小宮山の朝鮮陶磁器の所蔵品を見学しに小宮山邸を訪ねました。その柳の目に小宮山の所蔵する3体の木喰仏が映ったとたん、柳は「(木喰仏に)即座に心を奪はれ」と回顧しています。木喰仏の微笑に「限りなく引きつけられ」た柳に、小宮山は3体のうちの1体(地藏菩薩像<sup>じそうぼさつぞう</sup>)を贈呈しました。その後、柳を中心に木喰上人と木喰仏についての調査・研究が進められ、1年ほどの期間で全国各地から約350体の木喰仏が発見されました。木喰五行研究会が設立されると小宮山が代表を務め、研究雑誌『木喰上人之研究』には小宮山も数々の論考を掲載しており、柳らの調査成果である図録『木喰上人作 木彫仏』の刊行についても、小宮山がその費用を負担するなど、陰になり日向になり、木喰仏の魅力を世に伝えることについて尽力しました。

小宮山は「この道より我を生かす道なし。この道を歩く。」と消防行脚のさながらに述べたとされていますが、表裏の消防・木喰をはじめ、様々な分野で活躍を果たしたと言えます。山梨近代人物館では、小宮山のほかにも様々な分野で活躍した人物たちをご紹介しますので、ぜひ山梨近代人物館でそれぞれの道で自らを生かしていった姿と出会いにお出かけください。



池田消防組頭の半被<sup>ほっぴ</sup>に身を包んだ小宮山  
(『消防道要領』より)



小宮山が代表を務めた木喰五行研究会発行の『木喰上人之研究』第1号

## 山梨の文化財

学術文化財課

## 県指定有形文化財 石川家住宅（甲府市城東）

平成28年9月5日指定

石川家住宅は甲府市街地にあり、国道411号線（通称城東通り）沿いに位置する。近世甲府城下の代表的な塗籠土蔵造町屋の系統を引き継ぐ、数少ない戦前から存在する建築物である。第2次世界大戦終了以前には甲府市街地には土蔵造りの商家が軒を連ねていたが、昭和20年7月の甲府空襲と戦後復興に伴う開発により、その多くは消滅している。その中で石川家住宅は、明治期の遺構を残しながら現在まで残っている貴重な建築物である。

主屋の奥には、クラノマエ（蔵の前）を介して二階建ての座敷蔵が続き、さらに西側の庭中には文庫蔵が配置されている。表通りに面して門が建立され、南西隅に道祖神がある。また、周囲には高さ2m以上の塀を巡らせ、漆黒の重厚な構えとなっている。東の土塀に沿って物置があるが、かつては女中部屋であったという。

また、平面構成や洋風要素も注目すべき点が多く、材質、仕上げ、意匠も秀逸で後世に伝えるべき歴史的な住宅建築である。吟味された建築材料を使用し、意匠性の高い座敷や当時の流行であった洋間を取り入れるなど、当時の富裕層の趣向を知ることができ、また、関東大震災や第2次世界大戦時の痕跡も残っており、地域の歴史を知る貴重な史料でもある。



全 景



洋 間

## 家読（うちどく）ポップ作品を募集します！

社会教育課

「しなやかな心の育成推進事業」の一環として、社会教育課では、「家読（うちどく）推進運動」に取り組んでいます。「家読（うちどく）」とは、一冊の本（絵本）を通して、家族のコミュニケーションをより豊かにしようという取り組みです。

今年度も、子どもたちといっしょに読みたい本、読んでもらいたい本を紹介した「家読100選」パンフレットを作成し、3歳児（入園児）、小学校1年生、3年生、5年生、中学1年生全員に配布させていただきました。本を読んで、その本の感動を家族で共有することで、家族のつながりが深まります。

パンフレットには昨年度の「家読ポップ展」の入賞作品を掲載させていただきました。県のHPからもダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

また今年度も、家読ポップ作品を募集しますので、皆様の応募をお待ちしています。

### H27年度最優秀賞作品



## ～うちどくポップ展募集内容～

### 1 趣旨

家族のコミュニケーションを深める「家読」をさらに推進していくため、家族におすすめしたい「私の一押し本」を紹介するポップを募集します。

### 2 募集内容

#### (1) テーマ

「家読100選」パンフレットで紹介している図書、またはそれ以外の図書の中から一番おすすめしたい図書の紹介

#### (2) 応募資格 山梨県内に住んでいる人

### 3 応募方法

(1) 郵送、電子メール、FAXにより、応募票に必要事項を記入の上、事務局（社会教育課）までお送りください

(2) 募集×切は平成29年1月18日(水) 当日必着

### 4 ポップ展の開催

(1) 展示場所 防災新館1階オープンスクエア

#### (2) 展示期間

平成29年2月12日(日)

～2月14日(火)

\*表彰式は2月12日(日)

\*詳しくは県HPをご覧ください。募集要項・応募票・募集チラシをダウンロードできます。

### H27年度うちどくポップ展授賞式の様子

